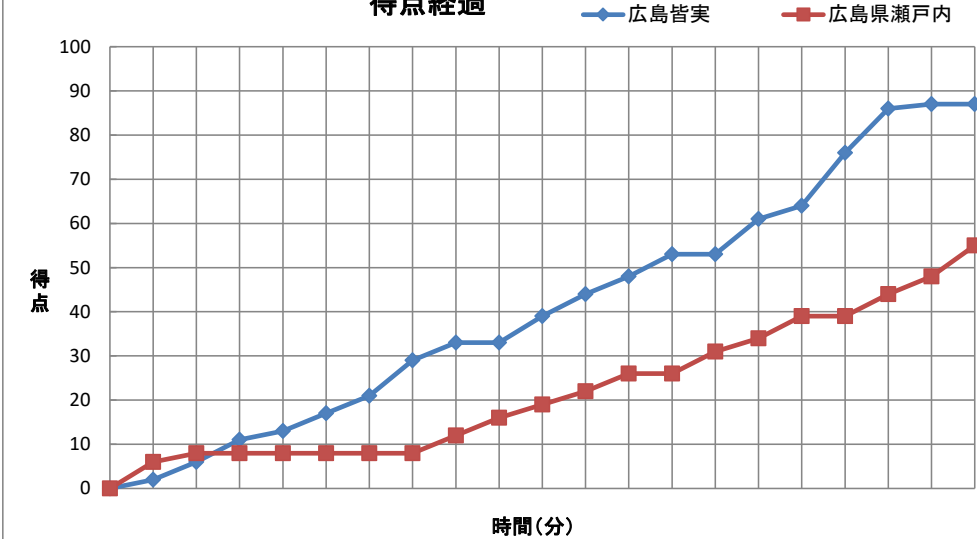




個人トータル表

男 子							令和7年6月1日 14:30 開始						
決勝							IHIアリーナ呉 J						
◎ 広島皆実 87 (広島県)							55 広島県瀬戸内 (広島県)						
171st8 222nd11 223rd15 264th21													
番号	氏 名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏 名	得点	3P	2P	FT	反則
* 4	磯 本 真 之 介	12	4	0	0	0	* 2	若 林 快 晟	7	1	2	0	0
* 5	平 田 成	19	2	5	3	3	7	伊 藤 雄 飛	0	0	0	0	1
6	竹 本 光 流	3	1	0	0	1	11	川 越 遼 大	0	0	0	0	1
7	川 崎 拓 海	-	-	-	-	-	13	早 田 勇 亀	8	2	1	0	0
* 8	村 上 礼	19	3	4	2	2	* 14	随 行 太 一	8	0	4	0	4
9	坂 西 優 友	0	0	0	0	2	15	升 田 大 翔	-	-	-	-	-
10	渡 邊 龍	-	-	-	-	-	18	平 野 晃 成	-	-	-	-	-
* 11	松 井 海 偉 渡	6	0	1	4	4	* 22	三 次 漣 侍	15	3	2	2	0
12	小 笠 原 諄	3	0	1	1	0	33	村 田 流 星	-	-	-	-	-
13	速 水 恒 徳	0	0	0	0	0	34	松 原 大 海	-	-	-	-	-
14	松 本 蓮 太 郎	14	2	4	0	0	* 37	藤 川 大 夢	11	2	2	1	3
15	藤 本 晴 己	7	0	3	1	1	* 51	金 本 尚 大	6	0	1	4	4
* 16	藤 原 佑 貴	4	0	2	0	0	77	若 林 亮 汰	-	-	-	-	-
17	立 花 怜 央	0	0	0	0	1	73	竹 川 蓮 恩	-	-	-	-	-
18	橋 本 青 空	0	0	0	0	0	88	玉 川 蛍 翔	-	-	-	-	-
コ-チ	横 田 学					0	コ-チ	川 西 英 昭					0
Aコ-チ	佐々井雄大						Aコ-チ	山 崎 翔 太 郎					
合 計		87	12	20	11	14	合 計		55	8	12	7	13
主審： 皆川義紀													
副審： 森原隆													
副審： 高梨保樹													

得点経過



CTO	1・2P		3・4P				OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	18:09	:	:	:	:	:	:	:	:	:
TeamB	7:38	13:18	24:24	32:57	:	:	:	:	:	:

〔戦評〕広島皆実VS瀬戸内
スタート 広島皆実#4 #5 #8 #11 #16 瀬戸内#2 #14 #22 #37 #51
1Q 皆実はマンツーマン、瀬戸内は3-2のゾーンプレスからゲームがスタート。瀬戸内はスクリーンプレイからシュートチャンスを作り出し、最初のプレイで#22の3ポイントでスリーポイントファウルをもらい先制。皆実は#8のレイアップや#5のバックダウンから得点を重ねる。その後お互いに点数が膠着し、残り2：22に13-8の状況で瀬戸内がタイムアウトをとる。タイムアウト明けは皆実が力強さを見せ、#15のペイントアタック、#4のスリーポイントが決まり、17-8皆実のリードで終えた。
2Q 皆実はマンツーマン、瀬戸内は3-2のゾーンを継続する。皆実は#16のペイント内での得点から始まり、#14のプッシュや#5のペイントアタックから着実に得点を重ねる。一方瀬戸内は好機を作るもシュートを射抜くことができず得点が止まる。残り6：42に26-8の状況で瀬戸内がたまたまタイムアウトをとる。タイムアウト後から瀬戸内はマンツーマンに変更。ここから皆実は#4のスリーポイント、瀬戸内は#14のバックドアからの得点などお互いに一進一退の攻防が続く。残り1：51に33-16の状況で皆実がタイムアウトをとる。皆実は#8のピックアンドロールからのドライブなど得点を重ね、瀬戸内#2のブザービーターのスリーポイントが決まり、前半は39-19皆実のリードで終えた。
3Q 後半はお互いにスターティングメンバーと同じ5人、皆実はマンツーマン、瀬戸内は2-3のゾーンプレスでスタートした。瀬戸内#51のハンドオフフェイクからのドライブからの得点で始まる。皆実は#5、瀬戸内は#37を中心にお互い得点を重ね、点差がなかなか縮まらない。残り5：36に48-26の状況で瀬戸内がタイムアウトをとる。タイムアウト明けも瀬戸内は2-3ゾーンを継続。皆実はリバウンドからオフェンスで粘りを見せるもなかなか点に結びつかず2分ほど得点が止まる。終盤に皆実#8、瀬戸内#37のスリーポイントが連続で決まり得点が動く。最後は皆実#8のブザービーターのスリーポイントが決まり、61-34皆実の27点リードで3クォーターを終えた。
4Q ディフェンスはお互い3クォーターから継続。瀬戸内は序盤幸先よく#14のペリメーター、#22の3ポイントで点差を縮めにかかるも、皆実も#4のスリーポイントや#5の連続得点で詰め寄せない。たまたま瀬戸内は残り7：03に71-39の状況でタイムアウトを要求。タイムアウト明けから皆実は#15のスティールからの得点に続き、#14、#4の連続スリーポイントで突き放しにかかる。さらに皆実は代わって入った#8のスリーポイントや#12のプッシュから得点が決まる。瀬戸内は#13、#22の3ポイントで応戦するも試合終了。87-55で広島皆実が4年連続25回目の優勝を決めた。
広島皆実には持ち前の堅守と多彩な攻撃で、岡山インターハイの舞台でも活躍を期待したい。

戦評： 寺田蒼生

記録：